

## 安全運転のために

★正しいドライビング・ポジションは急カーブや振動に対して身体がふらつかず、両手両足を敏速かつ、正確に動かせる姿勢です。

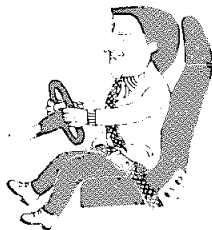
また前後の視界が十分確保でき、長距離運転にも疲れない姿勢であることも大切です。(シートの調整の項目参照)



ヘッド・レストの間はにぎりこぶしの幅以上あげないようにしましょう。

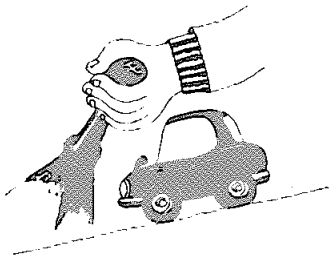
### ★セーフティ・ベルトは

必ず装着して運転しましょう。特に腰ベルトは腰骨の位置にピッタリと装着し肩ベルトも必ず装着しましょう。(セーフティ・ベルトを忘れずにの項目参照)

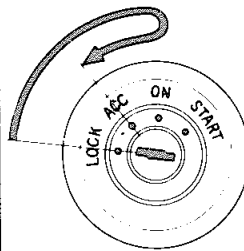


腹の位置にかけると万一のとき身体にくいこみ危険です。

★長い坂道を下る場合はエンジン・ブレーキを活用しましょう。(ブレーキ、クラッチの使い方の項目参照)  
フット・ブレーキを踏み続けるとブレーキの効きが悪くなる恐れがあります。



★エンジンを停止して移動する場合は(けん引される場合など)エンジン・スイッチは一度ONにしてからACCの位置にしましょう。(エンジン・スイッチの項目参照)

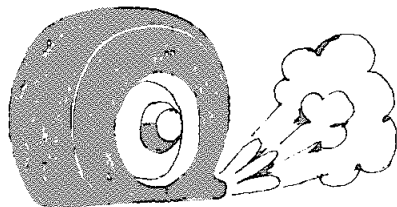


走行中は、キーを絶対にロックの位置にまわさないでください。ハンドルが切れなくなり危険です。

# これだけはぜひ！ 守りましょう

### ★タイヤは

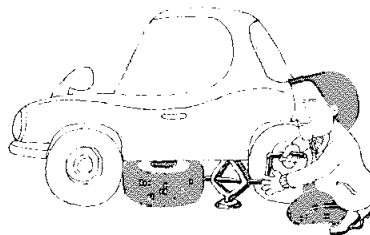
1. 走行前に必ず空気圧を点検しましょう。(タイヤの空気圧の項目参照)
2. 摩耗して溝が浅くなったら取り替えます。(タイヤの溝の深さの項目参照)



走行中、パンク、バーストを起こしやすくなり危険です。

### ★ジャッキを使用するときは

所定の位置に確実にセットしましょう。輪止め、パーキング・ブレーキを忘れずに。(パンクの処置の項目参照)



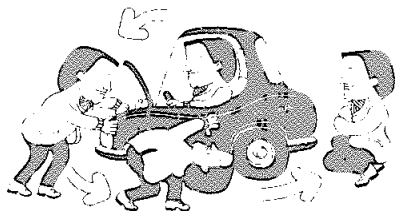
ジャッキがはずれると車が急に傾き大変危険です。

### ★排気ガスは

密閉した車庫内で長時間エンジンをかけたままにしておくくと空気を汚し、ガス中毒を起こす危険があります。

### ★仕業点検は

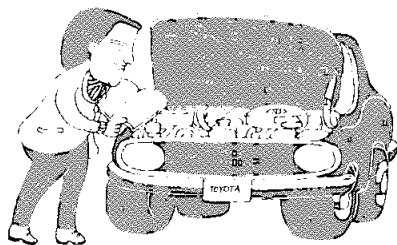
故障を未然に防ぐため、必ず行ないましょう。(仕業点検の項目参照)



### ★定期点検は

整備手帳にもとづいて必ず行ないましょう。

車の性能を維持し安全に運転していただくためには大切なことです。



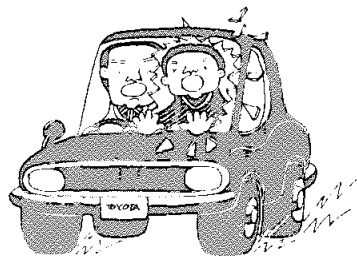
## お子様を乗せる とき

★なるべくおとなと一緒にリヤ・シートにすわらせましょう。

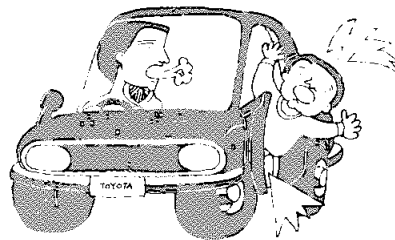


助手席ではドライバーのじゃまになります。

万一のとき放り出される心配があります。



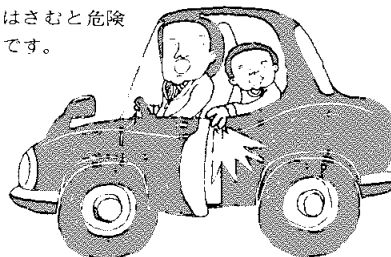
★ドアのロックを確実にしましょう。



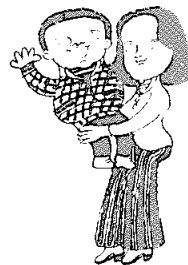
ロックをすれば、ドア・ハンドルをいじっても、ドアは開きません。

★必ずおとながドアの開閉をしましょう。

お子様が手をはさむと危険です。



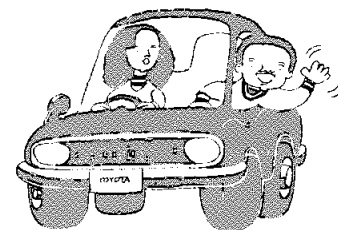
★車から離れるときは、お子様と一緒に連れてゆきましょう。



室内にお子様を残しておくと思いがけない事故が起きる場合があります。

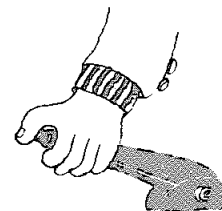
★窓から顔や手などを出させないようにしましょう。

窓から乗り出すと思いがけないケガをすることがあります。



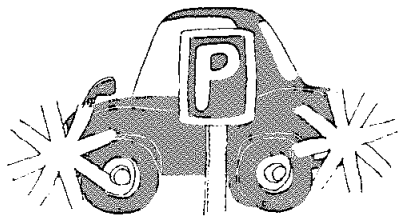
## 故障を防ぐために

★パーキング・ブレーキ・レバーは走行する前に必ず確実にもとまでとし、インジケーター・ランプが消灯するのを確かめましょう。(パーキング・ブレーキ・レバーの項目参照)



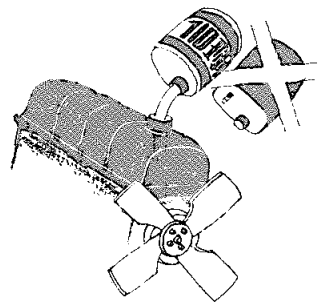
ひいたまま走行するとひきずりを起こしブレーキが効きにくくなります。

★バッテリーは  
完全充電でもエンジンを停止してランプ  
類を使用すると消耗が激しいものです。



バッテリーがあがりエンジン始動ができ  
なくなることがあります。

★オイルの補給は  
同品質か、それ以上のオイルを使用しま  
しょう。  
(トヨタ純正キャスル製品の項目参照)



質の異なったオイルを補給すると  
性能が低下する恐れがあります。

★ブレーキ・フルードを補給するときは  
同銘柄、同品質のフルードを必ず使いま  
しょう。なお、タンク内にゴミがはいら  
ないように十分注意しましょう。  
(トヨタ純正キャスル製品の項目参照)

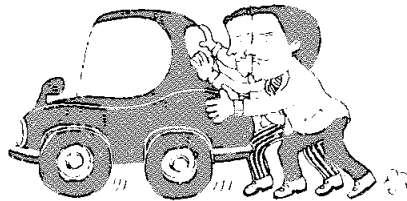


ゴミがはいるとブレーキが効かなくなり、  
クラッチは切れなくなることがあります。

## 万—のために—

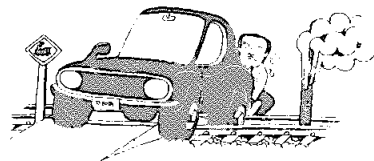
★エンストして始動できなくなったときは

1. 付近に人がいる場合は安全な場所ま  
で押してもらってください。



2. マニュアル・トランスミッション車  
の場合、踏み切りなどで急を要する  
ときは、スターターで抜け出してく  
ださい。ギヤをセカンドまたはサー  
ドに入れ、スターターをまわします。  
このときクラッチから足を離してお  
きます。また平坦路の場合は、トッ  
プにすると早く抜け出せます。

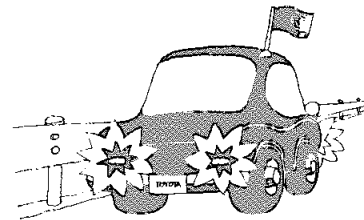
3. 踏み切りなどで抜け出せない時、列  
車が来そうになったら保安炎筒で合  
図してください。



★高速走行中、パンクやバースト(タイ  
ヤの空気が急に抜けること)したとき  
ハンドルをしっかりとって急ブレーキは  
踏まないようにしましょう。  
急ブレーキを踏むとハンドルを強くとら  
れ、車が横転することがあります。

★故障したら

車を路肩に寄せハザード・ウォーニング・  
ランプを点滅させるか、または故障車と  
わかるように赤旗などを目につくよう表  
示します。



★速出して故障し、なおせないときは  
整備手帳のサービス網をご覧になって、  
最寄りの取扱販売店へ連絡しましょう。